

2025～	医療福祉研究Ⅰ	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	狩野 俊介	

■授業のテーマ

「医療福祉（ヘルスケア）」領域におけるソーシャルワーク理論に関連する実践と研究。

■授業の目的

医療福祉とヘルスケアの関連を理解し、それに求められる支援を展開する上で、ソーシャルワーク理論とともにさまざまな諸理論に基づき患者及びその家族、さらにはサービス提供者である専門職を理解する視点を深め、実践上のかかわりを行えるようになる。

■授業の到達目標

- ・医療福祉とヘルスケアの関連について理解し、説明できる。
- ・医療福祉にかかる理論の成り立ち、主要概念、方法論等について説明できる。
- ・医療福祉にかかる理論およびアプローチを踏まえて、自らの実践を省察、評価し、理論と実践の往還的な理解と説明が行える。

■授業の概要

「医療福祉」領域におけるソーシャルワークとは、Medical Social Work、Social Work in Hospitals、Social Work in Healthcare、Social Work in Health Service などと表現されている。医療は言うまでもなく健康と関連する領域であり、近年では人々の健康は生物学的要因だけでなく、社会的決定要因（Social determinants of health）が関連することが示されている。こうした観点から、ここでは健康を視野に入れた「医療福祉」としてのヘルスケアにおけるソーシャルワークのあり方を考える。つまり、医療、健康、ストレス、安全をキーワードにヘルスケアにおける多様な側面における諸課題・諸理論をもとにして、今後の「医療福祉」領域におけるソーシャルワークの意義や可能性について考察する。加えて、こうしたソーシャルワーカーによる実践を科学するための方法についてもふれていく。

■在宅学修

(1) レポート課題

課題 1	医療ソーシャルワークの歴史的展開とともに、今日の医療福祉領域で求められるソーシャルワーク実践とその背景について論じてください（4,000字程度）。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業1週間前まで <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input type="checkbox"/> その他 ()
課題 2 (事後課題)	授業で取り上げた医療福祉及びヘルスケアに関する諸理論・諸概念を取り上げて説明した上で、自らのソーシャルワーク実践との関連、実践における発展的な展開について考察しなさい（4,000字程度）。	【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()

【要確認】在宅での印刷教材等による学修の報告となる「レポート課題」の他に、オンデマンドを含むスクーリングでは「スクーリング事前課題」「スクーリング事後課題」が設けられています。スクーリング課題（予習・復習）がレポート課題1・2に相当する場合、それとは別に設けられている場合があります。この後に記載のスクーリングの項の各課題についても確認してください。

(2) アドバイス

課題1 アドバイス

在宅学修15のポイントを参考に、医療福祉の理解、医療ソーシャルワークの歴史といった基礎的な理解を踏まえつつ、今日のソーシャルワークを取り巻くどのような環境の影響により、医療福祉領域で求められる役割も変化してきていると考えられるのかについて考察してください。

課題2 アドバイス

近接領域における諸概念や方法論を、自らの実践（研究を含む）に引き寄せて理解し、その応用可能性について検討する能力は重要です。そうしたスクーリングで内容を踏まえ、自身の実践（研究を含む）においてどのように捉え直し、応用することができるかなどを報告してください。なお、レポート作成時に用いる学びの内容は複数あげても良いです。

(3) 在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	医療福祉領域におけるソーシャルワーク	医療福祉、健康	医療福祉とヘルスケアの概念の捉え方を整理し、医療・保健・福祉の関連からソーシャルワークのあり方について学修する
2	医療ソーシャルワークの歴史と現状	MSW (Medical Social Work)、歴史	日本における医療ソーシャルワークの歴史と現状について学修する
3	医療ソーシャルワークの歴史(諸外国)	家庭訪問員、アーモナー	諸外国(アメリカ、イギリス)における医療ソーシャルワークの歴史と現状について学修する
4	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワーク①(身寄り問題への支援)	身寄り問題、医療同意	疾病に伴って生じる生活課題と医療ソーシャルワーク実践における視点と課題について学修する
5	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワーク②(スティグマの理解)	スティグマ	さまざまな疾病に伴って生じうるスティグマについて理解し、医療ソーシャルワークとの関連から学修する
6	医療福祉領域で働く人のメンタルヘルス	バーンアウト、ワークエンゲイジメント	医療ソーシャルワーカー等の医療専門職が実践上で抱えるストレス、バーンアウト、ワークエンゲイジメントについて学修する
7	患者・家族と医療ソーシャルワーク	病むこと、当事者の知、エンパワメント	疾病に伴って生じる患者、家族における役割葛藤と、経験による専門家としてのナラティブに着目したエンパワメントについて学修する
8	医療福祉領域における意思決定支援①(意思決定)	意思決定支援、インフォームド・コンセント、SDM (Shared Decision Making)	医療福祉領域における患者の意思決定支援としての支援つき意思決定、代理代行決定を理解し、共同意思決定(Shared Decision Making: SDM)の方法について学修する
9	医療福祉領域における意思決定支援②(事前指示)	ACP (Advance Care Planning)、クライシス・プラン	医療福祉領域において用いられている事前指示(Advance Directive)、リビングウィル(Living Will)、アドバンスケアプランニング(Advance Care Planning: ACP)、クライシス・プランの歴史と方法について学修する
10	ヘルスケア①(健康と健康生成論)	健康生成論、ストレス対処力	健康生成論とストレス対処力(Sense of Coherence: SOC)の概念について理解する
11	ヘルスケア②(心的外傷後成長)	心的外傷後成長、レジリエンス	疾病等によるさまざまな困難を経験した後にみられる患者や家族の成長に関する概念として、心的外傷後成長(Post Traumatic Growth: PTG)とレジリエンスについて理解する
12	ヘルスケア③(健康とストレス対処)	ストレス対処、認知行動療法、予防	認知行動療理論を基盤にしたストレス対処、心理教育等について学修する
13	ヘルスケア④(健康格差と社会的処方)	健康格差、社会的処方、ソーシャル・キャピタル	健康格差が生じる背景、社会的処方、ソーシャル・キャピタルについて理解し、その対策について学修する
14	安全・安心のためのセーフティプロモーション	安全、セーフティプロモーション	人々の安全と安心のための地域づくりの方法としてのセーフティプロモーションの基本的な考え方を理解し、ソーシャルワークとの関連について学修する

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
15	ソーシャルワークの効果測定とヘルスサービスリサーチ	事例研究、効果測定、サービス評価	医療福祉領域におけるソーシャルワーク実践評価としての事例研究、医療福祉サービスの評価方法について学修する

■スクーリング

(1) スクーリング事前課題(予習)(学修時間目安:35時間)

- ・スクーリングによる対面授業までに「在宅学修15のポイント」の2～6に対応したオンデマンド教材を視聴し、受講する形をとる。オンデマンド教材を視聴後、再度学修内容(キーワード)について理解を深められるよう整理してください。
- ・レポート課題の「課題1」を提出してください。

(2) スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	医療福祉概念と医療福祉領域におけるソーシャルワークについて	リモート
2	医療ソーシャルワークの歴史と実際(学修テーマ2～3)についての講義とミニレポートの作成	オンデマンド
3	疾病に伴う生活課題と医療ソーシャルワークについて(学修テーマ4～5)の講義とミニレポートの作成	オンデマンド
4	医療福祉領域で働く人のヘルスケアについて(学修テーマ6)の講義とミニレポート作成	オンデマンド
5	患者、その家族から学ぶ医療ソーシャルワークのあり方(学修テーマ7)についての講義とオンデマンド授業内容についての質疑応答	対面
6	医療福祉領域における意思決定支援について(学修テーマ8)の講義	対面
7	医療福祉領域における事前指示について(学修テーマ9)の講義	対面
8	健康の理解と健康に関連した諸概念について(学修テーマ10～11)の講義とオンデマンド授業内容についての質疑応答	対面
9	健康に関する個人と環境へのアプローチについて(学修テーマ12～13)の講義	対面
10	医療福祉領域における効果測定とサービス評価について(学修テーマ14～15)の講義	対面

(3) スクーリング事後課題(学修時間目安:35時間以上)

- ・レポート課題の「課題2」について作成し、提出してください。

■評価の方法・基準

- ・課題1レポート(20%)、課題2レポート(20%)
- ・スクーリング(60%)

■参考文献(*印=大学から送付される必読図書)

- *1) 近藤克則『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか(第2版)』医学書院、2022
- 2) 杉山明信、保正友子、植木博之編著『医療ソーシャルワーカーのストレスマネジメント』中央法規、2020
- 3) 中山和弘『これからのヘルスリテラシー 健康を決める力』講談社、2022
- 4) 黒岩晴子編著『新版 人と社会に向き合う医療ソーシャルワーク』日本機関紙出版センター、2020
- 5) 狩野俊介・野村昭幸編著『危機がチャンスに変わる クライシス・プラン入門 精神医療・保健・福祉実践で明日から使える協働プラン』中央法規出版、2024
- 6) 山崎喜比古・吉井清子監訳『アロン・アントノフスキー著 健康の謎を解くストレス対処と健康保持のメカニズム』有信堂、2001
- 7) 田宮菜奈子・小林康毅編『ヘルスサービスリサーチ入門 生活と調和した医療のために』東京大学出版、2017